

【公益目的事業1】 就農支援事業

「セミナー」「営農支援情報提供」「海外団体との交流・提携」を通じて以下の事業を実施する予定である。

(1) セミナー

2022年は以下の事業を開催予定である。新型コロナウイルスの状況を踏まえつつ、対面型、リモート型での企画も含めて開催する。

愛農大学講座（対面型）、i-salon（リモート型）の開催

<日程> 年2回～4回開催予定

総会記念イベントの開催

<日程> 3月開催予定

(2) 営農支援情報提供

① 機関誌『愛農』

機関誌による情報提供を継続する。主催セミナーの実施報告や開催案内、持続可能な農業や暮らしの実践者の紹介、過疎に対して具体的な取り組みを行っている地域の紹介等を通じて時代の情勢に合わせた情報提供を行う。

(3) 海外団体との交流および提携事業

① A F A (Asian Farmers' Association for Sustainable Rural Development)

理事会および経営に関わる会議、A F Aに関わる国際会議への出席等、本年もオンライン等を通して継続して活動に取り組む。

② 韓日平和交流会

韓国正農会との交流事業。（オンライン開催）

(4) 国内団体との交流および提携事業

① 家族農林漁業プラットフォーム・ジャパンとの連携

② 子どもの遊び場創出事業との連携

【公益目的事業2】 農産物及び加工食品等の認証に関する事業

(1) 認証事業

本年度も継続して認証事業に取り組む。過去に参加した未申請事業者へのフォローを行う等、収益の柱として講習会・新規事業者の拡大に積極的に取り組む。

<具体的な取り組み>

- ・新規認証審査、年次確認調査：都度
- ・有機認証講習会：年4回開催予定
- ・内部監査：10月実施予定
- ・認証業務者研修：8月実施予定
- ・判定会：週1回を基本として原則毎週開催
- ・有機JAS登録認証機関協議会による公平性委員会参加
- ・有機農業指導員育成セミナーの開催

【管理部門】

本年度の重点取組項目としては以下の通りである。

(1) 事務局業務体制の整備

少人数での事務局スタッフで無理なく業務を遂行できるようにするため、必要なシステム整備や業務のアウトソースを含めた運用の仕組みづくりを引き続き行う。

特に会計業務、支援者管理業務を中心に運用の見直しと再構築を行い、コロナ禍であっても対応できるような公益事業の運営体制を整備する。